

2025（令和 7）年度 ファミリーソーシャルワーク研修会 開催要綱

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院

1. テーマ

社会的養護施設等による地域の子ども・子育て支援の展開に向けて
～必要な支援をすべての子ども・子育て家庭に届けるために～

2. 趣 旨

子ども・子育て家庭のもつ課題が複雑化・困難化している現状をふまえ、令和 4 年度改正児童福祉法を中心に子ども・子育て家庭をとりまく制度等が大きく変化しており、社会的養護施設・関係機関にはさらに高機能化・多機能化が求められています。

あわせて、少子化が加速している一方で、児童虐待の通報件数が 20 万件を超えているにも関わらず、社会的養護施設等への入所に至る子ども等は約 4,000 件程度にとどまっており、その他の多くの子ども・子育て家庭は在宅を主として地域で生活している現状です。

社会的養護施設等には家庭支援専門相談員だけでなく、すべての職員・関係機関に対して、入所児童とその家族への支援を基本に置きつつ、多様な課題や背景を抱えながら地域で生活している幅広い親子のニーズに対応できる、他機関連携および多機能的な相談対応・支援体制を構築できる多面的なアセスメントによる支援の展開が求められています。

本研修会では、改正児童福祉法等をうけて社会的養護施設や関係機関に求められる支援機能と各地における実践について事例等を通じて学び、施設種別等を越えて情報交換・連携することで、包括的な支援体制のなかで、すべての子ども・子育て家庭を支援できるための多角的な視点を身につけることを目的に開催します。

本研修は、都道府県により社会的養護処遇改善加算対象研修となっています。詳細は、施設所在地の都道府県担当課に確認ください。

3. 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 共 催

全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

5. 後援（予定）

公益財団法人全国里親会、全国児童家庭支援センター協議会、全国児童自立支援施設協議会、全国児童心理治療施設協議会、全国自立援助ホーム協議会、日本ファミリーホーム協議会

6. 参加対象

家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、母子支援員、少年指導員、家族（保護者）支援に携わる児童福祉施設職員や関係機関職員、里親、ファミリーホーム養育者・補助者 等

7. 会 場

中央福祉学院（ロフォス湘南） 〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

（公共交通利用の場合）

JR 横須賀線「逗子駅」、京浜急行線「逗子・葉山駅」から路線バス利用 約 25 分

（自家用車利用の場合）

横浜横須賀道路「逗子 IC」から約 15 分

8. 研修日程・定員・申込締切

下記の 3 日程で開催します。第 1 日登壇者、第 2 日分科会テーマが各日程で異なります。

（定員各回 200 名、合計 600 名）

【研修日程①】	2025 年 9 月 21 日（日）～9 月 22 日（月）	定員 200 名
【研修日程②】	2025 年 11 月 4 日（火）～11 月 5 日（水）	定員 200 名
【研修日程③】	2025 年 12 月 10 日（水）～12 月 11 日（木）	定員 200 名
※ 第一次申込締切：8 月 20 日（水）		

※定員に達した場合は、先着順とさせていただきます。

※多くの方にご参加いただけるよう、なるべくおひとりにつき 1 日程の申込をお願いいたします。

※8 月 20 日以降は申込数の状況で受付を行います。

※詳細は中央福祉学院ホームページにて随時お知らせいたします。

9. 受講料

19,800 円（税込）※旅費・宿泊費・食事代は別途

- ・ 受講料は、後日送付する払込取扱票（払込通知票）によりお振込みください。
- ・ 研修期間中の宿泊・食事等は、中央福祉学院ホームページにてご案内しております。研修施設と宿泊施設は同一建物（ロフォス湘南）です。期間中、交通機関でのご移動無く、快適な環境でご受講いただけます。近隣からご受講の場合、宿泊せずに通うこともできます。ロフォス湘南内の駐車場は無料です。

10. 修了証明書

本研修会（研修日程①～③のいずれか 2 日間）を受講した方には、研修終了時に修了証書を発行します。

11. プログラム

動画配信【配信期間】2025年8月下旬～12月下旬※詳細は受講決定通知にてお知らせします

時 間	内 容
60分程度	■事前学習 「子ども・子育て支援にかかる今後の制度動向と 社会的養護施設関係機関の連携」 ・改正児童福祉法に係る制度動向や、こども家庭センターの役割、令和7年度からの後期社会的養育推進計画等について、全国の状況や社会的養護施設に求められる役割等を学びます。 〔講師〕 ・福永 佳也 氏(こども家庭庁支援局家庭福祉課 児童福祉専門官)※予定

※修了証明発行の必須条件ではありませんが、ご視聴いただいたことを前提に研修を進めますので、受講までに各自で視聴いただくことをお勧めします。

第1日 【研修日程①】2025年9月21日(日) 【研修日程②】11月4日(火)
【研修日程③】12月10日(水)

時 間	内 容
09:20～10:20	受付
10:20～10:30	■開会・オリエンテーション
10:30～11:30 (60分)	■講義 「社会的養護施設等関係機関におけるソーシャルワークの重要性 ～ソーシャルワークの根幹的視点をふまえて～」 ・支援が必要な子ども・子育て家庭と向き合う際のソーシャルワークの必要性・重要性を理解するとともに、ファミリーソーシャルワーカーとして必要な視点を学びます。 〔講師〕 研修日程①(9月21日) ・泉谷 朋子 氏(聖隷クリストファー大学 准教授) 研修日程②(11月4日)、研修日程③(12月10日) ・倉石 哲也 氏(武庫川女子大学 教授)
11:30～11:45	休憩
11:45～12:45 (60分)	■講義 「社会的養護施設等関係機関が取り組むべきソーシャルワークとは ～地域の子ども・子育て家庭の状況と国の施策動向をふまえて～」 ・子どもや子育て家庭の多様化・複雑化する課題に対して、関係機関や職員が理解しておくべきポイントを、国の施策動向や令和7年度からの後期社会的養育推進計画の現状等もふまえた視点で学びます。 〔講師〕 研修日程①(9月21日)、研修日程②(11月4日) ・河尻 恵 氏(日本福祉大学 教授) 研修日程③(12月10日) ・山縣 文治 氏(大阪総合保育大学 特任教授)

12:45～13:45	昼食休憩
13:45～17:50 (245 分)	■シンポジウム 「社会的養護施設等関係機関による地域の子ども・子育て支援の展開に向けて ～必要な支援をすべての子ども・子育て家庭に届けるために～」 ・さまざまな課題のある子ども・子育て家庭への支援を行う際のヒントとなる事業やアセスメントの重要性を学ぶとともに、各施設・機関がもつ専門性と機能を広く地域に向けて発揮できる包括的な支援の実現について検討します。 〔登壇者〕 <u>研修日程①（9 月 21 日）</u> 【進行】 ・河尻 恵 氏（日本福祉大学 教授） 【シンポジスト】 ・増沢 高 氏（子どもの虹情報研修センター センター長） ・渡邊 守 氏（特定非営利活動法人キアアセット 代表理事） ・志村 浩二 氏 （児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」センター長 浜松学院大学 STEAM 教育研究所 外部研究員(元・短期大学部 教授)） <u>研修日程②（11 月 4 日）</u> 【進行】 ・河尻 恵 氏（日本福祉大学 教授） 【シンポジスト】 ・横堀 昌子 氏（青山学院大学 教授） ・中島 尚美 氏（関西学院大学人間福祉学部 非常勤講師） ・谷口 由希子 氏（名古屋市立大学 准教授） <u>研修日程③（12 月 10 日）</u> 【進行】 ・山縣 文治 氏（大阪総合保育大学 特任教授） 【シンポジスト】 ・胡内 敦司 氏（こども家庭庁支援局家庭福祉課 課長補佐）※予定 ・渡邊 守 氏（特定非営利活動法人キアアセット 代表理事） ・志村 浩二 氏 （児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」センター長 浜松学院大学 STEAM 教育研究所 外部研究員(元・短期大学部 教授)）
18:00	第 1 日終了

※18:30 より、当日の夕食を兼ねた交流会を開催します（希望者のみ、費用別途。詳細は後日お送りする案内をご覧ください）。

第 2 日 **【研修日程①】 2025 年 9 月 22 日（月）【研修日程②】 11 月 5 日（水）**
【研修日程③】 12 月 11 日（木）

時 間	内 容
午前 09:30～12:00 (150 分) 午後 13:00～15:30 (150 分) 計 300 分	■テーマ別分科会 ※各日程につき、3つのテーマについて分科会を設定 子ども・子育て家庭の多様化する課題に対して先駆的に取り組んでいる事例報告をもとに、社会的養護関係機関が連携して専門的なアセスメントを取り入れたファミリーソーシャルワークの実現をめざし、グループディスカッションや参加者間の情報共有等を交えながらテーマに分かれて協議します。
15:30	研修会終了

【第 2 日 分科会テーマ一覧】

	日程① 9/22	日程②11/5	日程③12/11
分科会①	「地域と連携したソーシャルワークの実践」 講師：増沢 高 氏	「子どもの声を聞けるソーシャルワーカーとなるために」 講師：横堀 昌子 氏	「地域と連携したソーシャルワークの実践」 講師：増沢 高 氏
分科会②	「里親支援のこれから」 講師：渡邊 守 氏	「妊娠期から支えるソーシャルワーク」 講師：中島 尚美 氏	「里親支援のこれから」 講師：渡邊 守 氏
分科会③	「親子関係(再)構築のために必要な支援とは」 講師：志村 浩二 氏	「当事者が求めるアフターケアの実践をめざして」 講師：谷口 由希子 氏	「親子関係(再)構築のために必要な支援とは」 講師：志村 浩二 氏

【研修日程①】2025年9月22日（月）

内 容

<第1分科会>「地域と連携したソーシャルワークの実践」

- ・母子保健と児童福祉の複合的な在宅支援、地域支援への取り組みが求められるなかで、社会的養護関係機関の機能を活かした方策を学びます。

キーワード：こども家庭センター、在宅支援、地域支援、他機関連携

〔講師〕

- ・増沢 高 氏（子どもの虹情報研修センター センター長）

〔実践報告〕

- ・小野寺 芳真 氏（港区児童相談所 児童相談課 児童福祉係長（SV））（東京都）
- ・小林 幸子 氏（ルフレ八尾 施設長）（大阪府・母子生活支援施設）

<第2分科会>「里親支援のこれから」

- ・里親支援センターの設置等、ますます重要となる里親支援について、児童福祉施設関係機関の支援のあり方や連携、アセスメントの重要性について学びます。

キーワード：里親支援センター、里親支援専門相談員、児童福祉施設との連携、フォスタリング

〔講師〕

- ・渡邊 守 氏（特定非営利活動法人キアアセット 代表理事）

〔実践報告〕

- ・山川 浩徳 氏（慈愛園乳児ホーム養育家庭支援センターきらきら センター長）（熊本県）
- ・大場 雅琴 氏（里親）

<第3分科会>「親子関係（再）構築のために必要な支援とは」

- ・親自身の虐待経験や、親子ともに障害がある家庭が近年増加しており、虐待のリスクにもつながっています。課題が多様化している親子に対して、それぞれの親子関係に寄り添ったアセスメントを行い、支援を組み立てるための視点を学びます。

キーワード：親子関係（再）構築支援、愛着形成、施設連携、チーム養育

〔講師〕

- ・志村 浩二 氏（児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」センター長
浜松学院大学 STEAM 教育研究所 外部研究員（元・短期大学部 教授））

〔実践報告〕

- ・坂口 学 氏（こどもの心のケアハウス嵐山学園 連携支援部 部長）
（埼玉県・児童心理治療施設）
- ・木村 博子 氏（横浜市民生委員児童委員協議会）

【研修日程②】 2025 年 11 月 5 日（水）

内 容

＜第 1 分科会＞「子どもの声を聞けるソーシャルワーカーとなるために」

- ・意見表明等支援員が配置される等、子どもとその保護者の権利擁護について、職員一人ひとりにさらなる取り組みが求められています。アドボカシーを実践するソーシャルワークを実現する方法を学びます。

キーワード：子どもの権利擁護、アドボカシー、意見表明

〔講師〕

- ・横堀 昌子 氏（青山学院大学 教授）

〔実践報告〕

- ・佐藤 靖啓 氏（港区児童相談所 児童相談課 児童福祉係長（SV））（東京都）
- ・村尾 理恵子 氏（ボ・ドーム大念仏 副主任）（大阪府・母子生活支援施設）

＜第 2 分科会＞「妊娠期から支えるソーシャルワーク」

- ・切れ目のない支援を実現するため、実践報告等を通して全国の取り組みを学び、とくに産前・産後からの支援を中心に、アセスメントの重要性等、関係者が持つべき視点を学びます。

キーワード：産前・産後支援、妊産婦等生活援助事業、特定妊婦支援、若年妊婦支援

〔講師〕

- ・中島 尚美 氏（関西学院大学人間福祉学部 非常勤講師）

〔実践報告〕

- ・西尾 和子 氏（公益社団法人小さないのちのドア 施設長）
（兵庫県・特定妊婦等支援民間団体）
- ・他調整中

＜第 3 分科会＞「当事者が求めるアフターケアの実践をめざして」

- ・施設等の退所、施設間移行に係る幅広い視野をもつとともに、子ども・そしてその保護者が本当に必要とする支援とは何かを考えます。あわせて支援者としてアフターケアを考え、実践するために必要なソーシャルワーク力を学びます。

キーワード：リービングケア・アフターケア、地域支援、他機関連携

〔講師〕

- ・谷口 由希子 氏（名古屋市立大学 准教授）

〔実践報告〕

- ・ブローハン 聡 氏（一般社団法人コンパスナビ 代表理事）
（埼玉県（こども家庭課）・児童養護施設退所児童等アフターケア事業所）
- ・福本 啓介 氏（あすなるサポートステーション 所長）
（神奈川県および相模原市・社会的養護自立拠点事業）

【研修日程③】 2025 年 12 月 11 日（木）

内 容

＜第 1 分科会＞「地域と連携したソーシャルワークの実践」

- ・母子保健と児童福祉の複合的な在宅支援、地域支援への取り組みが求められるなかで、社会的養護関係機関の機能を活かした方策を学びます。

キーワード：こども家庭センター、在宅支援、地域支援、他機関連携

〔講師〕

- ・増沢 高 氏（子どもの虹情報研修センター センター長）

〔実践報告〕

- ・水本 直美 氏（福岡市早良区保健福祉センター子育て支援課こども連携係）（福岡県）
- ・武田 麻里 氏（和歌山児童家庭支援センターきずな センター長）（和歌山県）

＜第 2 分科会＞「里親支援のこれから」

- ・里親支援センターの設置等、ますます重要となる里親支援について児童福祉施設関係機関の支援のあり方や連携、アセスメントの重要性について協議します。

キーワード：里親支援センター、里親支援専門相談員、児童福祉施設との連携、フォostタリング

〔講師〕

- ・渡邊 守 氏（特定非営利活動法人キアアセット 代表理事）

〔実践報告〕

- ・富樫 美和子 氏（聖園天使園 副園長）（秋田県・児童養護施設）
- ・大場 雅琴 氏（里親）

＜第 3 分科会＞「親子関係（再）構築のために必要な支援とは」

- ・親自身の虐待経験や、親子ともに障害がある家庭が近年増加しており、虐待のリスクにもつながっています。課題が多様化している親子に対して、それぞれの親子関係に寄り添ったアセスメントを行い、支援を組み立てるための視点を学びます。

キーワード：親子関係（再）構築支援、愛着形成、施設連携、チーム養育

〔講師〕

- ・志村 浩二 氏

（（児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」センター長
浜松学院大学 STEAM 教育研究所 外部研究員（元・短期大学部 教授））

〔実践報告〕

- ・佐藤 小百合 氏（母子生活支援施設かわだ 母子支援員）（東京都）
- ・澤井 基光 氏（岐阜県民生委員児童委員協議会 会長）（岐阜県）

12. 申込方法など

- 中央福祉学院ホームページ内、「ファミリーソーシャルワーク研修会」からお申し込みください。

<https://www.gakuin.gr.jp/training/fsw>



- 申込が完了した場合、自動配信にて申込完了メールが配信されます。お使いのパソコン等でセキュリティのためメールの受信拒否設定をされている方は、Google フォーム「forms-receipts-noreply@google.com」、もしくは「fsw@shakyo.or.jp」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。
- 入金前の取消の場合は、「取消用フォーム」から参加者ご自身にて行ってください。

<https://forms.gle/gcVw5KovUyT357bTA>

- 申込をされた方には、受講決定通知・研修参加を勤務先へお送りいたします。なお参加票は研修会当日に忘れずにご持参ください。
- 受講料のお振込については、受講決定通知に振込用紙がついています。振込期日を記載しておりますので期日中のお振込みをお願いいたします。
- 講義要綱（研修会資料）は当日、会場にてお渡しします。

13. 研修期間中の宿泊・食事・交流会申込

研修会お申込完了後、自動配信にてお送りする申込完了メール、もしくは中央福祉学院ホームページ内ファミリーソーシャルワーク研修会のページにてご案内します。宿泊施設（ロフォス湘南等）・食事（交流会含む）を希望の方は別途案内期日までにお申込みください。

14. 入金後の参加費の取扱い

研修会参加費は、ご入金後のキャンセルによる返金はいたしかねます。資料の送付をもって対応いたします。

15. 申込・問い合わせ先

〔研修内容・研修参加申込に関するお問い合わせ先〕

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 （担当：高島、池本）

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356 MAIL fsw@shakyo.or.jp